



氏名	竹内 珀人
所属	現代システム科学域教育福祉学類
学年	2 年
留学先	タイ・チェンマイ大学
留学期間	2025/2/9~2025/2/22

留学レポート Study Abroad Report

【授業】

平日の午前（9 時～12 時）に行われ、発音練習や英語で日常会話を練習し、残った時間で英語を使ったゲームなどを行いました。日本では自分の意見を英語で伝える機会が少なかったため、授業ではアウトプットの時間を重視していると感じました。コミュニケーションが中心の授業で生徒ひとりひとりが自由に意見を述べるができる環境だったと感じました。

【午後のアクティビティ】

アクティビティは基本的に昼食後の 13 時ごろに行われることが多かったです。内容としては主にバディと一緒にタイの文化について学び、環境問題についてのワークショップやアクティビティを行いました。タイでは日本と比べて大気汚染による問題が深刻であり、チェンマイでも例外ではありません。そのため、大気汚染を防ぐためにはどうすれば良いかや、どのような取り組みが行われているかなどを学ぶことができました。



【自由時間】

平日の 1 日は基本的に授業➡午後のアクティビティ➡自由時間といった流れでした。自由時間にはバデ



イがナイトマーケットや観光地に連れて行ってくれたり、プログラムに参加している仲間と一緒に周辺のさまざまな場所を訪れたりしていました。移動手段は主に Grab というアプリでタクシーを呼んで移動していました。比較的料金は安く、クレジットカードでの支払いも可能なので、スムーズに移動をすることができました。ホテルの周辺は近くにコインランドリーやコンビニ、スーパーマーケットなどが多く洗濯はこの時間に済ませていました。

【タイの料理】

朝食はホテルで食べ、昼食は学内の食堂で済ませることが多かったです。大学の食堂では、基本的にタイ語表記のみのメニューがほとんどであったため、写真を見せて注文するようにしていました。タイの料理は基本的に辛いので、辛い食べ物が苦手な場合は、注文する際に「ノースパischer」と伝えることを推奨します。また、水道水は飲むことができないため飲み水には十分注意をしていました。タイ料理は本当においしいものが多く、様々な種類があるので毎日楽しむことができました。



【環境】

滞在先のホテルではプールやランドリーサービスがあったりととても充実していました。部屋は 2 人 1 部屋で割り振られ、2 人で住むには十分な広さでした。また、この時期のチェンマイは日中の気温が 30℃ ほどで汗ばむような暑さですが、朝や夜は涼しくとても快適でした。また、日本の夏とは違い、蒸し暑さがほとんどなく日中であっても日陰にいれば涼しく過ごすことができました。道路を渡る際は交通量が多く信号が少ないため注意して渡る必要があります。

【留学を通じて】

この 2 週間でタイの文化や価値観を学んだことに加えて、英語を話すことに対する抵抗がなくなったと感じました。バディはとても優しく、日本に興味のある学生が多かったです。そのため、少しでもあれば日本語を話すことができるバディもいたため、円滑なコミュニケーションを図ることができました。また、タイは「微笑みの国」と呼ばれており、その名の通りタイの人々はとても愛嬌があり、フレンドリーな方が多く自分をありのままに表現している人がほとんどでした。タイ語で挨拶をしたり、「これはタイ語でなんて言うの？」と聞いたりするととても喜んで反応をしてくれたため、互いの言語や文化を尊重し実際に言葉にすることで相手に気持ちが伝わると学ぶことができました。

加えて、初めは英語で話す際に文法を意識しすぎて拙い英語になってしまっていたましたが、それよりも伝えようとする姿勢の方が重要だと感じました。